

③算数A

領 域	平均正答率		
	全国平均	県平均	放虎原小学校は
数と計算	約 8 1 %	約 8 1 %	全国平均を下回っている 7 5
量と測定	約 6 9 %	約 6 7 %	全国平均を下回っている 6 1
図形	約 8 1 %	約 8 1 %	全国平均をやや下回っている 7 8
数量関係	約 8 0 %	約 7 8 %	全国平均とほぼ同じ 7 7

④算数B

領 域	平均正答率		
	全国平均	県平均	放虎原小学校は
数と計算	約 5 3 %	約 5 0 %	全国平均と下回っている 4 6
量と測定	約 4 7 %	約 4 5 %	全国平均を下回っている 4 0
図形	約 1 3 %	約 1 0 %	全国平均を下回っている 5
数量関係	約 4 0 %	約 3 7 %	全国平均をやや下回っている 3 3

(3) 生活と学習に関するアンケート調査の結果（課題と思われる内容を抜粋）

①生活

質問内容	全国平均	県平均	放虎原小
テレビを2時間以上見ている。	約 5 5 %	約 5 6 %	約 6 3 %
新聞を週に1回以上読んでいる。	約 2 2 %	約 1 8 %	約 1 7 %

②学習習慣

質問内容	全国平均	県平均	放虎原小
家で予習をどちらかといえばしている。	約 4 0 %	約 3 7 %	約 2 8 %
家で復習をどちらかといえばしている。	約 5 4 %	約 5 2 %	約 3 8 %
家で、自分で計画を立てて勉強している	約 3 0 %	約 2 9 %	約 1 7 %

③保護者の学校参加・児童の地域参加

質問内容	全国平均	県平均	放虎原小
今住んでいる地域の行事に参加している。	約 6 2 %	約 6 4 %	約 2 8 %

3 改善に向けての取組のようす ※以下は昨年度の文章です

(1) 国語

- ①授業の中で小グループでの意見交換の場を設定するなど、話し合いの場を多くもち、友達の考えや意見を聞いたり、自分の考えをまとめたりする力を育てる。
- ②文章を書くことに慣れさせるために、書かせる機会を多くする。また、文章表現についての基礎的な学習内容の確実な定着を図るために、繰り返し練習する時間を設定する。
- ③朝の読書タイム等を活用し、読書に親しむ機会を増やすことで、伝えるべき内容を整理して考えたり、表現したりする力を育てる。

(2) 算数

- ①なぜそのような結果になるのか、根拠を明らかにしながら自分の考えをノートに書き、そのことを友達に説明する活動を授業で行う。（小グループでの話し合いの推進）
- ②3年生以上においてティームティーチング（複数の教員が役割を分担し、協力しながら指導する）を通して、基礎的な学習内容の充実と定着を図る。
- ③応用力を高めるために、授業の中で問題を解決するための多様な方法を見つけさせ、解決することの楽しさを味わわせる機会を増やす。

(3) 学習習慣

家庭との連携を図りながら、家庭学習の習慣化を推進する。